

データ管理・保存

計量結果をパソコンに取り込むには

天びんや台はかりで計量して得た結果を、パソコンに取り込んで分析やデータベース作成、パソコン側からの計量器コントロールなどを計画されている場合、イー・アンド・デイなら、以下の方法からお選びいただけます。

① データを記録しておいて後でPCに計量結果を送る

▶ 計量データロガー AD-1688 *

▶ 環境ロガー AD-1687 *

詳しくはP88をご覧ください。

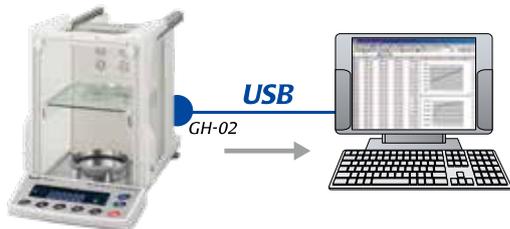
★WinCTは使用不可

送信のみ

② リアルタイムにPCにデータ送信

◆簡単に接続したい

- ・単方向通信
- ・PCのExcelなどに書き込む(ソフト不要)



▶ クイックUSB *

標準装備または別売のクイックUSBにより、計量値をPCに送信可能です。PCの画面上で開いているExcelなどに直接書き込みます。

- ・標準装備 : BA(-T)、BM、GX-A/GF-A(WP)、GX-M/GF-M、GX-L/GX-Lシリーズ
- ・別売オプション : GH、HR-A/HR-AZ、MC-1000/MC-6100、FZ-i/FX-i(WP)、EJ-B、SC/SEシリーズ

★WinCTは使用不可

送信のみ

▶ クイックUSBアダプタ AD-8527 *

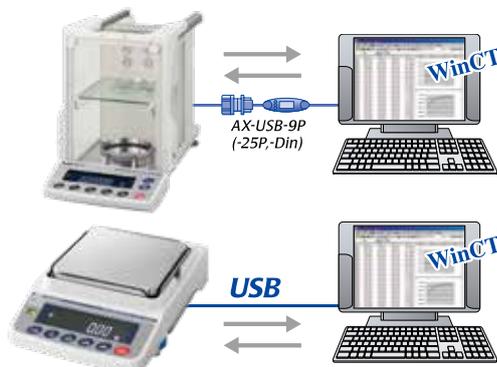
詳しくはP88をご覧ください。

★WinCTは使用不可

送信のみ

◆データ取込みソフトを使って記録したい

- ・PCからコマンドを送りたい
- ・グラフ化してトレンドを見れるようにしたい



WinCT使用可能(次ページ参照)

▶ USBコンバータ(ケーブルセット)

双方向通信

天びん、台はかりの計量データ(RS-232C出力)を変換して、USBインタフェースを持つパソコンに取り込むための、コンバータとケーブルのセットをご用意しました(P84参照)。双方向通信や統計演算出力、GLP・GMP出力の取り込みができます。取り込み用ソフトは、WinCTをご利用ください。弊社ホームページより無償でダウンロードできます。

▶ USBインタフェース*

双方向通信

標準装備または別売のUSBインタフェースでPCにデータ送信可能です。

- ・標準装備 : BA(-T)、GX-A/GF-A(WP)、GX-M/GF-M、GX-L/GF-Lシリーズ
※接続ケーブル付属
- ・別売オプション : HW-C/ HV-C(WP)シリーズ
※接続ケーブル別売

③ ワイヤレスで通信 BluetoothでリアルタイムにPCにデータ送信

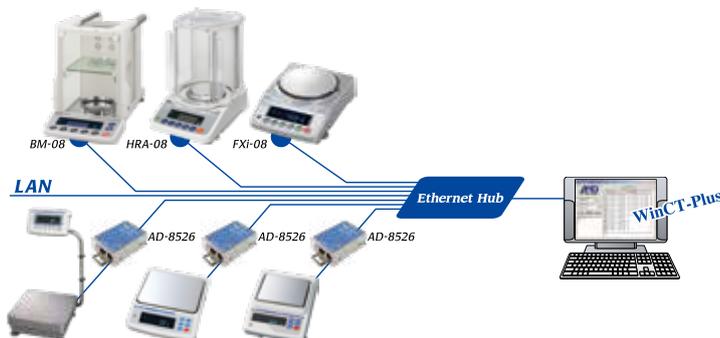
▶ Bluetoothコンバータ、Bluetooth機能搭載モデル、スマートフォンと接続させる通信方法



詳細は P11 「A&DのBluetooth通信デバイス」をご覧ください

④ LANで通信 イーサネットを使用したデータ通信

双方向通信



LAN上のパソコンと双方向通信を行い、複数の天びんのデータを1台のパソコンに取り込むことが可能です(P.84参照)。専用通信ソフト「WinCT-Plus」の使用で、1台のパソコンでLANやRS-232Cで接続した複数の計量器のデータを収集できます。また、コマンドで計量器のコントロールも可能です。

LANインタフェース標準装備: BA-T
オプション設定あり: BM、GH、HR-A(AZ)、FZ-i/FX-i(WP)、GX-A/GF-A、AD4212A/B
その他、RS-232Cインタフェースがあるモデルならばイーサネット・コンバータAD-8526を使用する事も可能です(P84参照)。